

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2020年度 パフォーマンス向上会議情報(2021年2月5日(金)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年2月5日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【2号機原子炉格納容器ガス管理設備ダストモニタ(A)検出効率低下について】 協力企業作業員が2号機原子炉格納容器ガス管理設備ダストモニタ(A)の線源校正を実施したところ、検出器の検出効率の低下にともない計数効率が10.2%で、基準の15.0%を下回っていることを確認。 対応手順に従い印加電圧を調整することにより、計数効率を19.0%に改善させ正常な状態に復帰した。	GⅢ	2月1日
2	【雑固体廃棄物焼却設備建屋の排ガスブロア(A)電動機点検時における油切カバー破損について】 協力企業作業員が雑固体廃棄物焼却設備建屋の排ガスブロア(A)電動機分解点検後の組立作業において、負荷側ブラケット取付けの際、油切カラーとブラケットの取り付け手順を誤ったため、ブラケットが油切カラーに干渉し油切カラーを破損した。 破損した油切カラーは新品と交換予定。 今後、再発防止対策を検討予定。	GⅢ	2月2日
3	【協力企業作業員の転倒による負傷について】 協力企業作業員が多核種除去設備保守管理業務において、吸着材交換作業を終え装備交換所に向かう途中、敷鉄板の間の段差に足を取られ転倒し足を痛めた。 救急医療室にて左第5趾中足骨近位端骨折と診断。 その後、いわき市内の整形外科を受診。 今後、再発防止対策を検討予定。	GⅢ	2月2日